

提

案手法2より大規模な問題例を現実的な時間で解くために, ヒューリスティックを用いた数理モデルを提案する.

ホー

ルドの統合本研究では, ホルドの数が43の運搬船を考えている.

るのではなく、複数のホルドをある程度まとめて考えて作業を行っている。そのため、各階においてスロープのついているホルドを境目として、2つのホルドのまとめりとして考える。

質が似ている場合に有効であると考えられる。予備実験としてハミング距離を用いてそれぞれの解の性質を比較する。

ハ

ミング距離ハミング距離とは、2つのベクトルの各要素の